



シリーズ
タンチョウ
Vol. 339

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

原田 修
〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ 検索



新たにレンジャーが着任しました

この4月より、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリに新たにレンジャーが着任しておりますので、着任のご挨拶を掲載させていただきます。新体制となったサンクチュアリをどうぞよろしく願いいたします。

<着任の挨拶 吉田 裕志>

このたび、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリに着任した吉田裕志と申します。以前は行政職員として仕事をしておりましたが、大好きな「自然」の保護にかかわる仕事がしたいと考え、鶴居村へとやってきました。自然いっぱいの鶴居村で生活していくことがとても楽しみな反面、出身地は京都府で北海道での暮らしは初めてのため、「冬は越せるのかなあ」「クマに襲われることはないだろうか」などと不安なことも多くあります。ですので、ぜひ村民の皆様から鶴居村で生活していくうえでのコツや知恵を教えていただければ嬉しいです。サンクチュアリでたくさんの方たちとお話できることを楽しみにしていますので、ぜひお越しください！

さて、タンチョウについては、鶴居村に来るまで「幻の鳥」のようなイメージを持っており、滅多に



はじめまして、吉田裕志です!!

見ることはできないのだろうと思っていました。しかし、いざ鶴居村に来てみると、農場や道路付近などでも姿を見ることができ、「普通にいる鳥なんだ」と思ったのがタンチョウの第一印象です。さらに、5月～6月では、農業被害対策として、牛の飼料となるデントコーンの畑で、植えたばかりの種を食べてしまうタンチョウの追払いに参加していました。タンチョウ保護のために鶴居村に来たはずが、気が付けばタンチョウを走って追いかけまわしているというなんとも複雑な心境ではありますが、追払いをしなければならぬほど、

羽数は回復してきているんだなと感じていました。このように、村外出身者の私からすると意外とたくさんいるタンチョウですが、長い間鶴居村で生活されている村民の方々からすると、やっと数が回復してきたという印象なのかもしれません。このことも、これまで村民の皆様が、タンチョウとの共存を目指し、保護活動を続けてきた成果なのだと思います。ただ、数が増えてきたとはいえ、冬の自然餌場のことや鳥インフルエンザの対策など、タンチョウ保護への課題はたくさん残っていると思います。そんなこれからのタンチョウ保護に関する課題に、村民の皆様と一緒に全力で向き合っていければと思っていますのでどうぞよろしく願いいたします。